

第 2 回豊後大野市「みらい戦略プラン」策定審議会  
議事録

---

会議：	第 2 回豊後大野市「みらい戦略プラン」策定審議会
日時：	2025 年 12 月 10 日（水）9:30-11:10
場所：	豊後大野市役所本庁舎 5 階委員会室
出席者：	出席者名簿のとおり 【資料 1】第 1 回策定審議会(議事録).pdf 【資料 2】みらいデザイン会議・各種アンケートまとめ.pdf 【資料 3】みらいデザイン会議報告.pdf 【資料 4】高校生・学生アンケート結果報告書.pdf 【資料 5】みらい戦略プラン素案.pdf
配布資料：	【資料 6】みらい戦略プラン策定手順.pdf 【資料 7】第 2 次総合計画及び第 2 期総合戦略における振り返り結果.pdf 【資料 8】パブリックコメント実施概要について.pdf 【資料 9】豊後大野市「みらい戦略プラン」策定スケジュール（全体）.pdf 【資料 10】豊後大野市「みらい戦略プラン」策定審議会委員名簿.pdf 第 2 回策定審議会次第.pdf

---

【以下、協議内容】

1. 開会

◇ 佐藤副会長より開会の挨拶を行った。

【佐藤副会長】

第 1 回策定審議会では多くのご意見を発言いただき感謝申し上げます。本策定審議会は、皆様からご意見をいただき、計画の完成度を高める貴重な機会である。活発なご意見のご発言をお願いしたい。

2. 会長あいさつ

◇ 橋本会長より挨拶を行った。

【橋本会長】

豊後大野市が一体となって生き残っていくための計画であり、同じ船に乗っている運命共同体という意識を持つことが大切である。活発な審議をお願いしたい。

3. 経過報告

◇ 事務局より「第 2 回策定審議会次第.pdf」「【資料 1】第 1 回策定審議会(議事録).pdf」「【資料

2) 未来デザイン会議・各種アンケートまとめ.pdf」「【資料 3】未来デザイン会議報告.pdf」「【資料 4】高校生・学生アンケート結果報告書.pdf」を用いて説明した。

#### 4. 議事（1）未来戦略プラン素案について 第 1 章

◇ 事務局より「【資料 5】未来戦略プラン素案.pdf（1～15 ページ）」「【資料 6】未来戦略プラン策定手順.pdf」「【資料 7】第 2 次総合計画及び第 2 期総合戦略における振り返り結果.pdf」「【机上配布資料】未来戦略プランの体系について」を用いて説明した。

##### 【三浦（誠）委員】

基本目標 4 の数値目標である「情報化 ICT 活用に関する取り組みに対する市民の満足度」について、現状値 2.44 の算定式を確認したい。

##### 【事務局】

本年度実施した市民アンケートで情報化 ICT 活用に関する取り組みについて 4 段階評価で満足度を回答する設問の結果であり、結果を点数化して平均値を算出した結果である。

##### 【後藤（綾）委員】

基本目標 3 の数値目標である「ふるさと納税者数」の現状値を確認したい。現状から令和 11 年度に向けてどの程度伸ばしていくか確認したい。

##### 【事務局】

数値目標を確定後、現状値と目標値を設定するため、数値を掲載していない箇所もある。そのため、第 2 回策定審議会では設定する数値目標に対するご意見をいただきたいと考えている。

##### 【江藤委員】

まちの将来像は、人口減少対策に取り組むうえで少し曖昧な印象を受けた。まちの将来像に込めた想いとして、豊後大野の「大」は大地を活かすこと、「野」は戦略的な野心を持ち、常に前向きに未来に向かって歩みを止めない姿勢を表すほうがより良い印象になると考える。

##### 【事務局】

まちの将来像に込めた想いは、未来デザイン会議の意見を参考に設定している。より戦略的なプランとするため審議会委員の皆様からご意見を踏まえて再検討する。

##### 【三浦（絵）委員】

まちの将来像の「！」は、どのような意図で設定したか確認したい。「豊」「後」「大」「野」の 4 つのキーワードで構成するほうが、市民目線からもわかりやすく、説明もしやすい。

#### 【清水委員】

基本目標に掲げる数値目標を達成することで、基本目標が達成できたと判断してよいか確認したい。まちの将来像の達成度をどのように測るかについて、指標の工夫が必要であると考え。

また、基本目標 1 の数値目標である「有効求人倍率」は、すでに高い数値で推移しており、現状のままではよいか検討が必要である。働いている人が多いほど「豊かなくらしとしごとを創る」が評価される場合、就業率などの指標を設定したほうがよいと考える。

さらに、基本目標 3 の数値目標である「ふるさと納税者数」は、外部の人からの評価に関する指標であるため、関係人口や U ターン者数などを設定し、「豊かな自然・地域を未来へつなげる」を評価するほうがよいと考える。

最後に、基本目標 4 は AI やデジタルといった手段が目的になっているため違和感がある。

#### 【事務局】

アンケートで指標の達成度を測るためには、地域によって回答が偏るため工夫が必要である。委託業者も含めて基本目標の達成度を測る数値目標を再検討する。また、基本目標 4 は、AI やデジタルなどの活用によってどのような成果が得られるかを検討する。

#### 【委託業者】

資料 5 の数値目標は各担当課が管理している数値データから目標に合った指標を選定している。ふるさと納税者数は、関係人口が数値の把握が難しいことから代替指標として設定している。基本目標 4 は、AI やデジタルなど手段が目的となっているため、今後の方向性を改めて確認し、指標を再検討する。

#### 【後藤（綾）委員】

基本目標 1 の数値目標である「有効求人倍率」は、どこの事業者も求人を出しているが、事業者が求める仕事と市民が求めている仕事との間にミスマッチが生じている。「しごとを創る」という観点では、事業創出数などを指標に設定することも考えられる。

また、基本目標 2 は、豊後大野市に産婦人科がないなどの課題もあるため、妊娠に必要な施設の数など、目で見えてわかる数値を指標として設定することも考えられる。

#### 【三浦（誠）委員】

事業創出も大切だが、現状ある事業を活用する視点も大切である。高齢化の進行により、後継者がいない事業者が増えている。事業承継の観点から数値化できる指標があれば検討してほしい。

### 5. 議事（1）みらい戦略プラン素案について 第 2 章

◇ 事務局より【資料 5】みらい戦略プラン素案.pdf（16～30 ページ）を用いて説明した。

**【太田委員】**

基本目標 1 で市民が求めているのは働く場所であるため、基本方針 1-1 と 1-2 は順序を入れ替えたほうがよいと考える。農業は、豊後大野市の基幹産業であるが、資料 5 の内容は従来と変わっていない。まずは仕事の確保を最優先に掲げるべきであると考えます。

**【事務局】**

農業より働く場所の確保を最優先事項として取り組むべきであるため修正する。

**【江藤委員】**

基本方針 1-2「くらしと仕事の希望をかなえる」は、「くらし」と「しごと」を分けたほうがよい。仕事づくりを最優先に位置づけるべきである。「しごと」に関する内容と、福祉や健康などの「くらし」に関する内容が混在している。新たな施策や対策は、意欲的に取り組む人たちの背中を押すような戦略的プランにしてほしい。

**【事務局】**

「しごと」と「くらし」に明確に区分し、「しごと」に重点を置いた構成とする。

**【清水委員】**

基本方針 1-1 の KPI である「経営拡大を行った中核的経営体数」は、「経営拡大」の判断基準が設定されているか確認したい。基準がない場合は設定したほうがよいと考える。

また、基本方針 1-2 の KPI である「立地候補企業との面談数」は活動指標であるため、戦略的プランとして成果指標につながる指標を設定したほうがよいと考える。

**【事務局】**

「経営拡大を行った中核的経営体数」は、農業振興課で数値を把握しているため、農業振興課に確認する。また、「立地候補企業との面談数」は、商業観光課と成果指標の設定に向けて協議・検討する。

**【後藤（綾）委員】**

基本方針 1-1 の KPI である「新規就農者数」と「経営拡大を行った中核的経営体数」は、市からの補助金が交付されていない場合は把握ができない。なお、経営拡大は、補助金の要件として「〇%拡大」との要件が設定されている。

**【清水委員】**

基本方針 3-3 の KPI は、「SNS フォロワー数」などを指標として設定すべきである。

また、基本目標 4 は、市役所内の業務の DX だけでなく、農業や福祉、医療などの分野においても DX により便利になったり、働きやすくなることを目指すべきだと考える。

**【後藤（綾）委員】**

基本方針 3-1 の KPI は、子どもたちに未来をつなげるため、学校での地域教育や食育などの「イベントの実施件数」を設定したほうがよいと考える。また、DX と関連づけて、子どもたちが地域の魅力を発見するプログラムの実施数なども一案である。SNS は情報が埋もれやすいため、テレビなど他のメディアを活用する方が効果的であると考えている。

**【事務局】**

基本方針 3-3 の KPI は「SNS フォロー数」を指標とするのがよいと考える。

また、デジタル活用は市民の利便性向上が目的であり、市役所内だけにとどまってはならないと考える。策定審議会の意見を踏まえてどのような取組ができるか検討する。

基本方針 3-1 の KPI である「地域振興協議会の設置数」は各地域への施策推進を目的として取組を実施しているが、文章がわかりにくい部分もあったため表現方法を見直す。

**【甲斐委員】**

基本更新 3-3 は、魅力を伝えるという観点から、小中学校の児童生徒によるまちの魅力発見をテーマにしたプレゼンテーションコンテスト（昨年度 10 件、本年度 20 件程度）を実施している。郷土学の成果をまとめ、1 人 1 台配布しているタブレット端末を活用して発表・発信している。未来につなげる取組として、子どもたちの主体的な取組を指標で示すのがよい。

**【事務局】**

ご意見を踏まえて、郷土学、ジオパークなど多様な体験や学習機会の提供は、「具体的な取組の方向性 2-2-5 多様な体験機会や学習機会の提供」に組み込む方向で検討する。

**【江藤委員】**

基本方針 3-2、3-3、3-4 の観光分野は、関連計画に観光分野が含まれていない。昨年議会で観光振興ビジョンはみらい戦略プランに記載することとなったと理解しているが、詳細のビジョンが記載されていないため、観光振興ビジョンの策定をするのがよいと考える。

**【橋本会長】**

みらい戦略プランは、人口減少対策を目的として策定している。総合計画のため観光分野の記載はあるが、別途観光振興ビジョンを策定するか、みらい戦略プランに盛り込むか検討をお願いする。

**【事務局】**

基本更新 3-2 に観光振興ビジョンの内容を盛り込んでいるが、担当課と調整しより充実した内容にする。

【江藤委員】

大まかな内容を示す程度でよいと考える。資料 5 の 6 ページのとおり個別計画を策定すべきである。

6. 議事（2）パブリックコメント実施概要について

◇ 事務局より【資料 8】パブリックコメント実施概要について.pdfを用いて説明した。

7. 議事（3）策定スケジュールについて

◇ 事務局より【資料 9】豊後大野市「みらい戦略プラン」策定スケジュール（全体）.pdfを用いて説明した。

8. その他

◇ 委員より追加意見を聴取した。

【三浦（誠）委員】

基本方針 2-2 の KPI である「将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合」は一般的である。豊後大野市ならではの特色を反映した指標として、「地元に残りたいと考える児童・生徒の割合」や「地元定着率」などを設定したほうがよいと考える。

【清水委員】

高校生・学生アンケートのうち定住意向に関する結果は、女性が「10 年後も住みたい」と回答した割合が少ない。人口減少対策の取組として、女性が「豊後大野市に住み続けたい」「U ターンで戻ってきたい」と魅力を感じられる計画にしてほしい。

【事務局】

社会教育の分野で郷土愛を育むことを目標とし、将来豊後大野市に残ってもらえるような取組を検討する。

9. 閉会

- ◇ 事務局より連絡事項（第 3 回策定審議会開催日は 1 月 19 日 13 時 30 分開始）を行った。
- ◇ 佐藤副会長より閉会の挨拶を行った。

以上